

授業科目 医療管理論

【担当教員名】 瀧口 徹	対象学年	2	対象学科	情報	
	開講時期	前期	必修選択	必修	
	単位数	2	時間数	30	
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○	◎	○			
【概要】 病院における医療管理について、特に感染管理、地域医療連携、疾病管理、EBM、クリニカルオーデイト、高齢者医療などについて学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SB0】 医療事故と医療過誤のメカニズム、クリニカル・ガバナンスの構成要素であるEBM、クリニカル・オーデイト、クリニカル・インディケーター、クリティカルパスを体系的に理解する。更にDPCシステム等の新たな病院管理法、病院機能評価についての基本を理解する。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	医療事故と医療過誤 1				
2	医療事故と医療過誤 2				
3	医療制度改革と医療規制				
4	医療従事者とチーム医療				
5	地域保健・医療・福祉連携				
6	医療従事者とチーム医療				
7	高齢者医療と介護保険				
8	クリニカル・ガバナンス 1				
9	クリニカル・ガバナンス 2				
10	クリニカル・ガバナンス 3				
11	疾病管理				
12	病院機能評価 1				
13	病院機能評価 2				
14	インフォームド・コンセント				
15	まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		医療・病院管理用語辞典	日本医療・病院管理学会学術情報委員会	市ヶ谷出版社	2011・3,500円＋税
		医療の質の定義と評価法	Avedis Donabedian、東 尚弘 (訳)	健康医療評価研究機構 (iHope)	2010・3,800円＋税
		クリティカルパスの進め方	遠藤英俊、諏訪免典子	ぱる出版	2007・2,500円＋税
		患者満足度 ―コミュニケーションと受療行動のダイナミズム―	前田 泉、徳田茂二	日本評論社	2005・1,800円＋税
その他の資料					
【評価方法】 出席方法、授業態度、毎回行う小テスト、筆記試験で総合的に評価する。		【履修上の留意点】			